

国立駅南口子育て支援施設 基本設計(案)

※ 以降の内容は、今後の設計の進捗により変更が生じることがあります。

国立のみんなで育ち育てる「子らぼステーション」

このまちで生まれ育った楽しい記憶を紡ぐ場所として、地域とゆるくつながり、多世代が関わる場所へ

01 広場としての「子らぼステーション」

様々な世代が子育てをきっかけに集まる広場

子ども達、子育て世代を中心にしながら、様々な世代にも使われる広場のような空間づくり、国立のまちと連続する拠点「子らぼステーション」を創出します。

02 みんなで「育ち、育てる」まちの駅

国立の未来を育て、自らも育っていく公共施設

子育て施設としての充実を目指しながら、時間の経過とともに施設自らも成長し、育っていくような公共施設、まちを育てるための交流の場 まちの駅 をつくります。

03 子どもの施設ならではの配慮

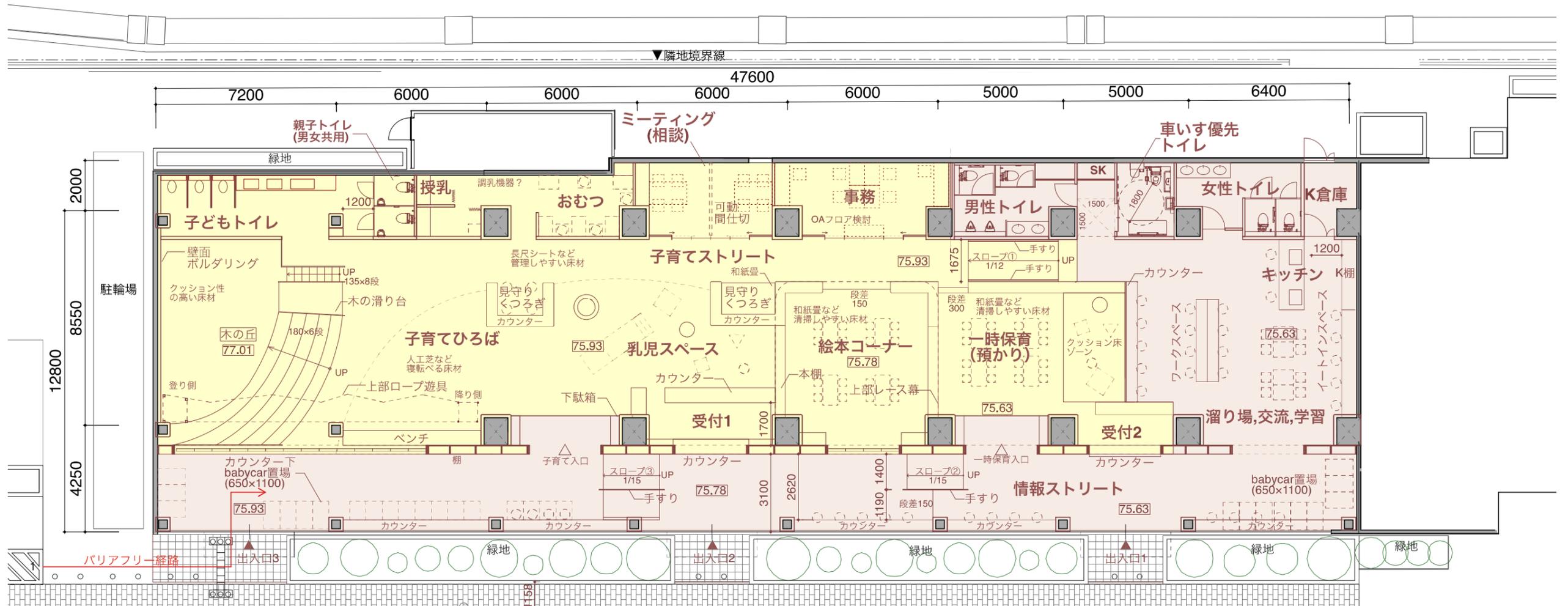
安全で見通しの良い明るい空間と多様な居場所

わかりやすく、機能が連続するゾーニングとし、使う側にも管理する側にも見通しの良い明るい空間とします。機能を重ね合わせて、多様な使い方を誘発します。また柔らかく安全で、自然で落ち着く素材を選定し、子どもも大人も居心地の良い多様な居場所を作ります。

04 ランニングコスト低減と合理的な環境設計の両立

素朴でシンプルな素材と優しい環境づくり

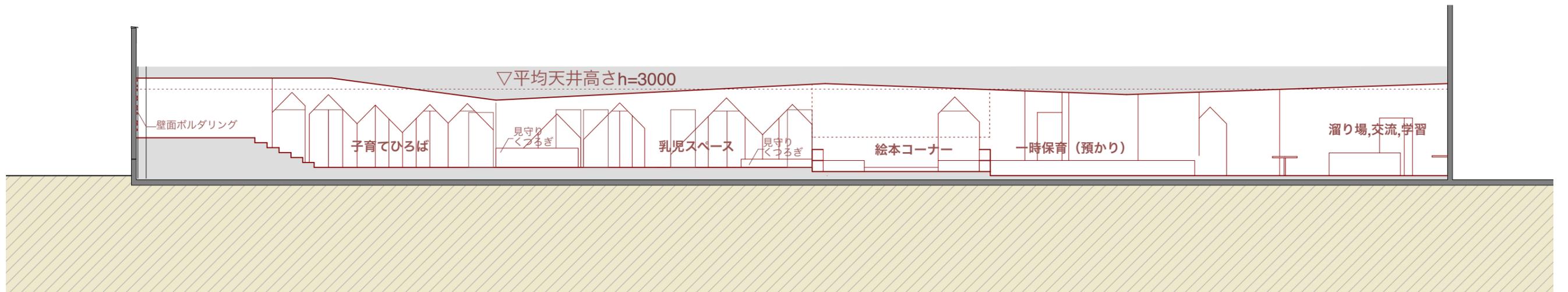
子どもが触れる箇所(腰壁,家具,遊具)には多摩産中心の木材を採用しながら、内装には抗菌+清掃容易な汎用素材を基本とします。ポイントとなるデザイン以外はシンプルなデザインとし、空調衛生も節電・節水型の器具を採用、照明も必要な箇所に照度をもたらすタスクアンビエント方式として省エネかつランニングコストを低減します。



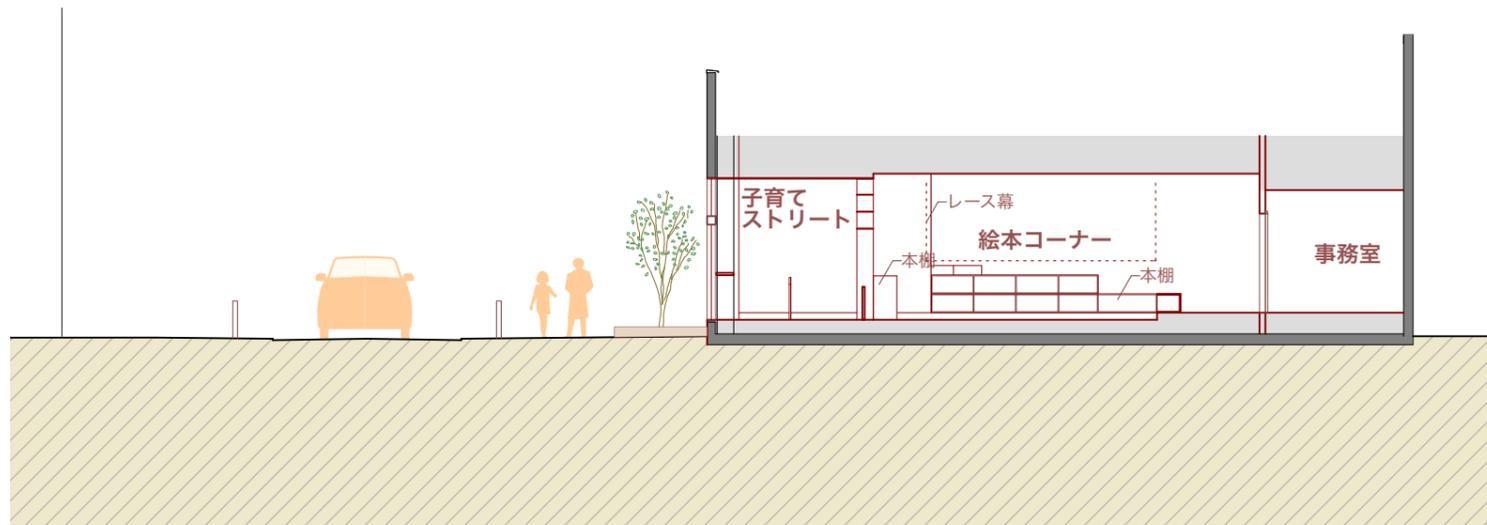
凡例

- は全体計画躯体を示す
- は上足エリアを示す
- は下足エリアを示す

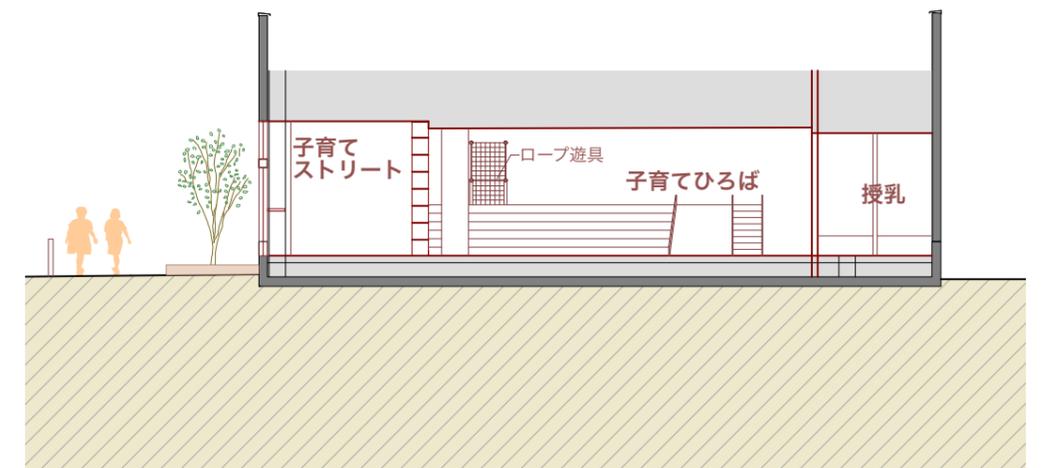




長手断面図



短手断面図1



短手断面図2





